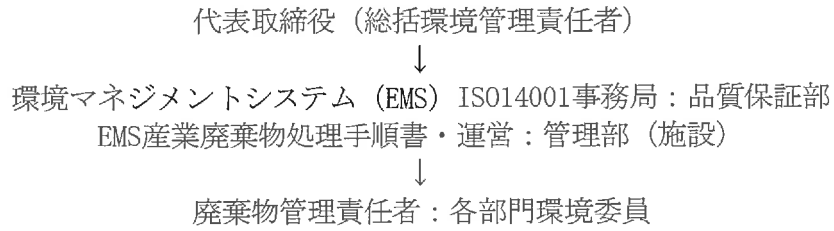


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月20日	
都道府県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1 氏 名 小岩井農牧株式会社 代表取締役 武田 久男 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 019-692-3115	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	小岩井農牧株式会社
事業場の所在地	岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	農業、林業、総合工事業、食料品製造業、飲食料品小売業、飲食店、その他の生活関連サービス業、娯楽業
② 事業の規模	売上高 48億円
③ 従業員数	160名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜のふん尿→自己処理(堆肥化)及び委託処分(堆肥化) その他の産廃→委託処分(粉碎及び焼却、埋立、リサイクル化)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 一部家畜ふん尿を自己処理（堆肥使用）し、排出の削減を図った。		
② 計画	【目標】前年値		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 一部家畜ふん尿を自己処理（堆肥使用）し、排出の削減を図る。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） _____
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） _____

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥使用		
③ 計画	【目標】 前年値		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年と同じ		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		

## (第4面)

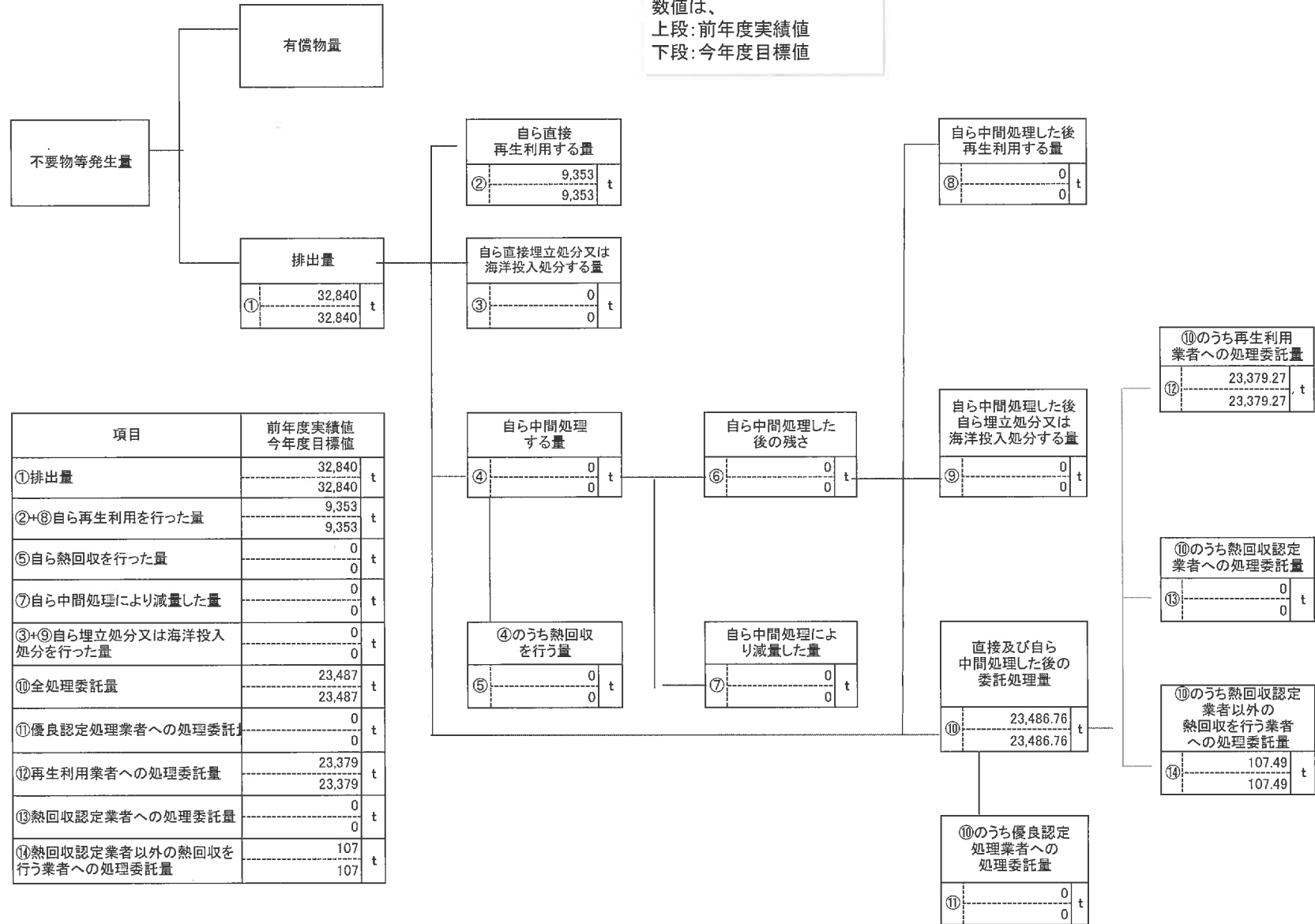
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和6 年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①平成18年、バイオマス利活用施設（バイオマスパワーしずくいし（BPS））を他社と共同設立し、場内主排出物である家畜ふん尿を一部場内堆肥使用を除き、BPSへ排出している。 ※BPSに於いては、発電化、堆肥化されている。 ②場内から排出されるほとんどの産廃処理委託先は、何らかのリサイクル（サーマルリサイクル含む）をする業者を選定した。 ③畜糞尿の一部は場内にて堆肥化している		

② 計画	【目標】前年値 (別紙の通り)		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度と同様		
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類: 全体)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





## :

有償物量

排出量

②	0	t
	0	

$$\begin{array}{c|c} \textcircled{3} & \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \end{array} \quad t$$

⑧	0	t
	0	

⑨	0	t
	0	

(12) —————

0  
0

13

への処理委託量	53.81	
---------	-------	--

10	53.81	
----	-------	--

⑪	0
	0

④	0	t
	0	

⑥	0	t
	0	

⑤	0	t
	0	

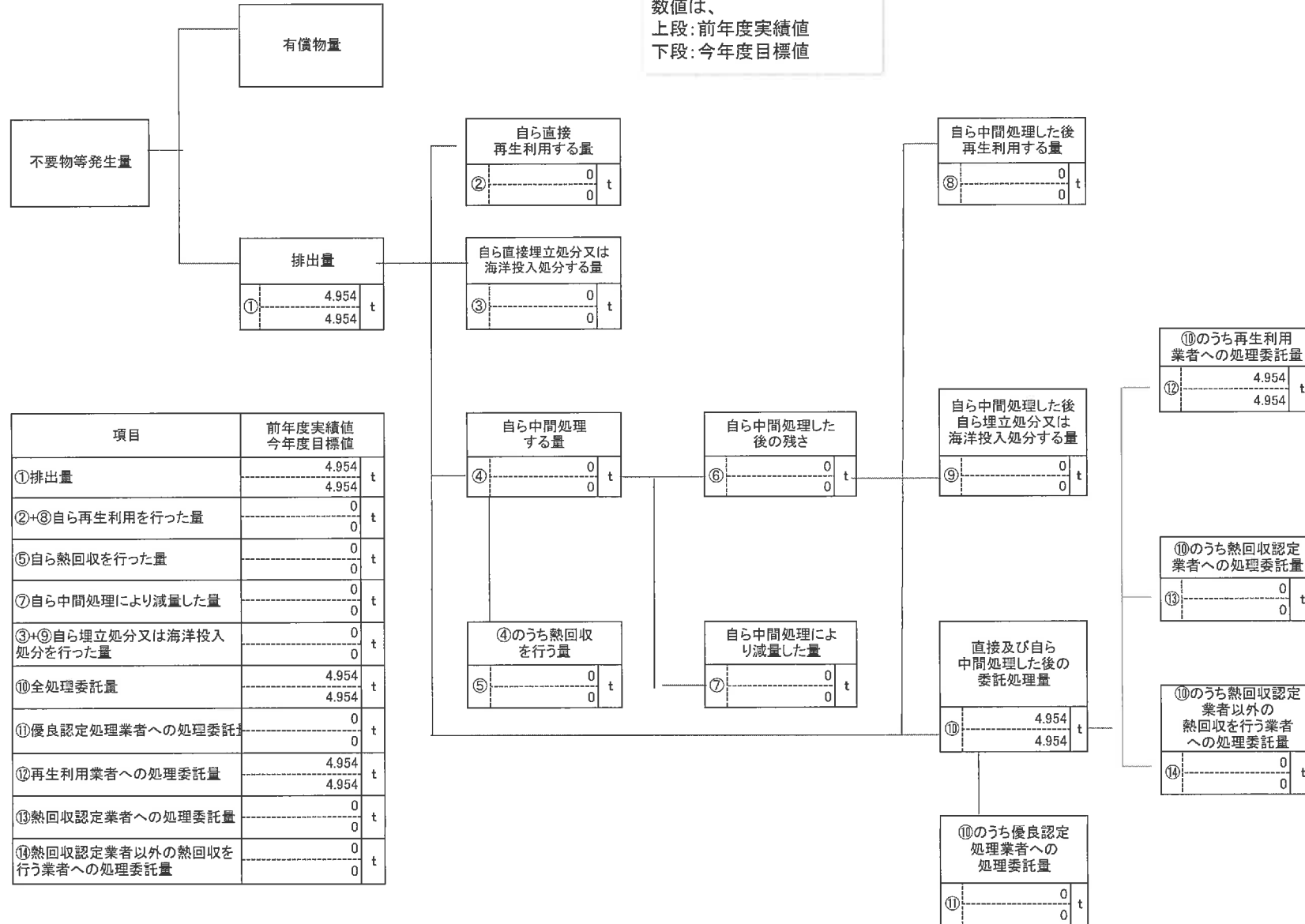
7	0	t
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	53.81	t
	53.81	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	t
	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0	t
	0	
⑩全処理委託量	53.81	t
	53.81	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	0	
⑫再生利用業者への処理委託量	0	t
	0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	53.81	t
	53.81	

(産業廃棄物の種類: 混合(廃プラ+金属くず))

【別紙】今年度の計画

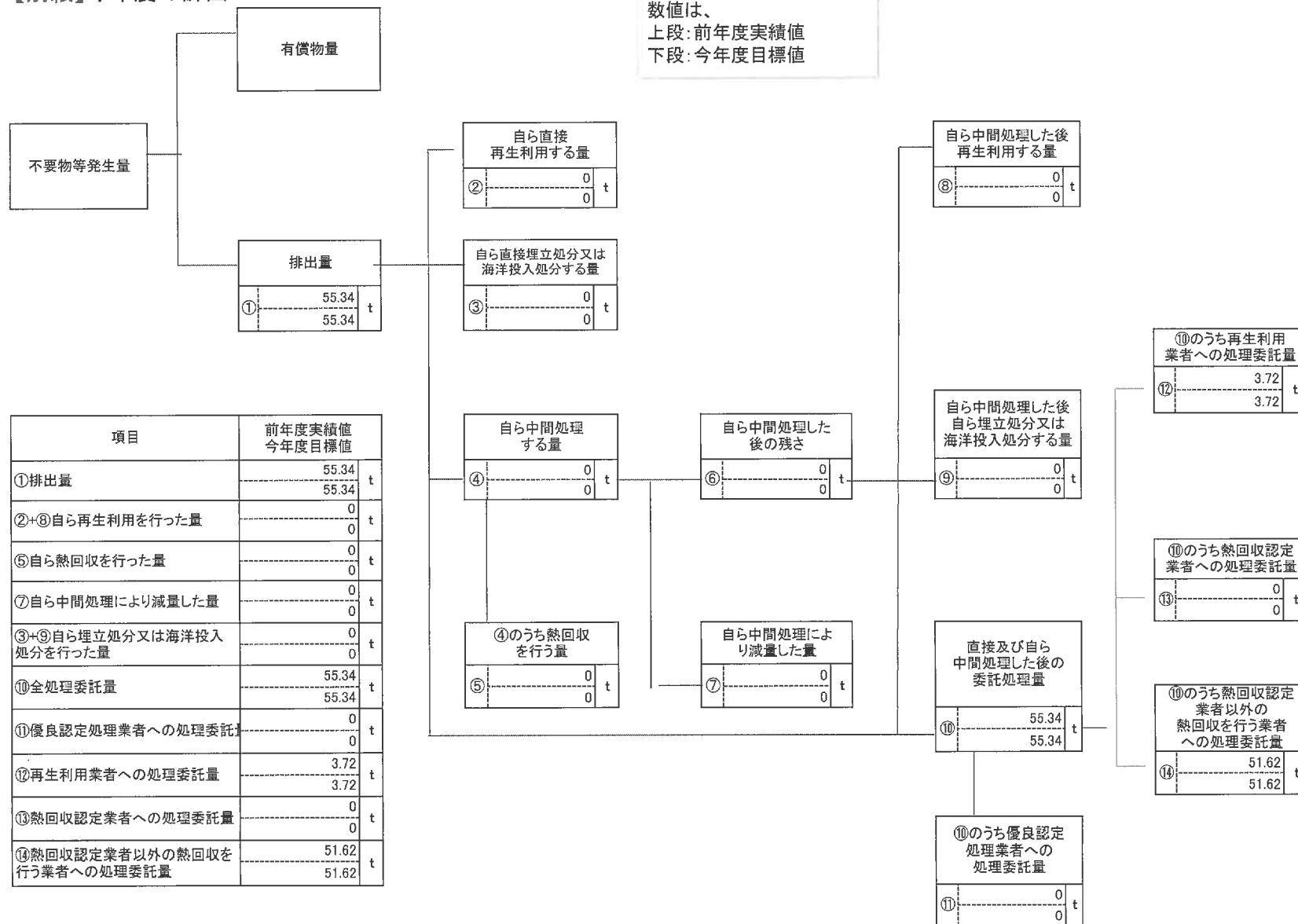
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

【別紙】今年度の計画

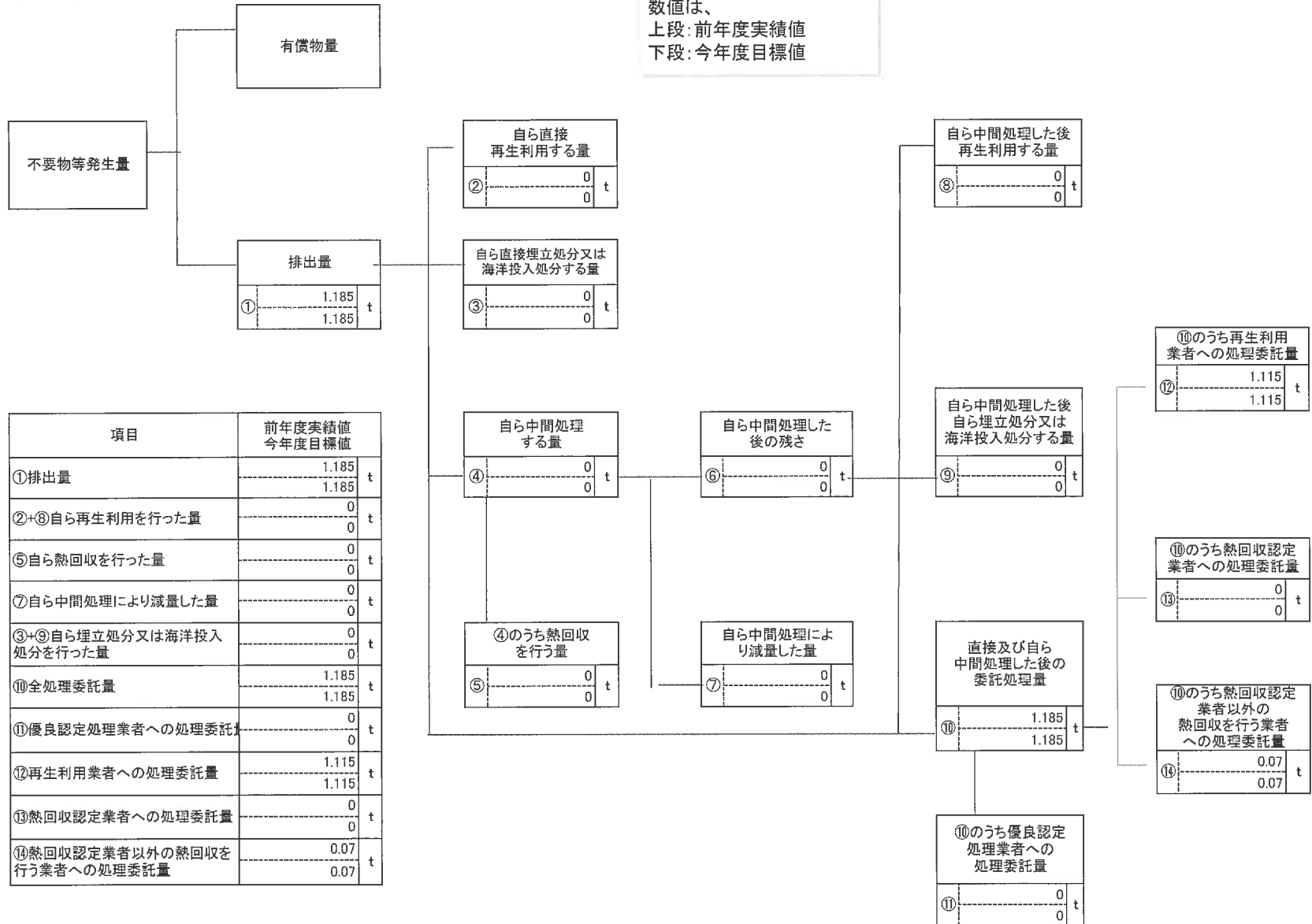
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

有償物量

排出量

②	0	t
	0	

③	0	t
---	---	---

$$\begin{array}{|c|} \hline \textcircled{8} \\ \hline \end{array} \begin{array}{c} \text{---} 0 \\ \text{---} 0 \end{array} t$$

⑨	0	t
	0	

12	0	t
	0	

13	0
	0

燃回収を行う業者 への処理委託量	1,634
---------------------	-------

10	1.674	t
----	-------	---

⑪	0	t
	0	

④	0	t
	0	

⑥	0	t
	0	

⑤	0	t
	0	

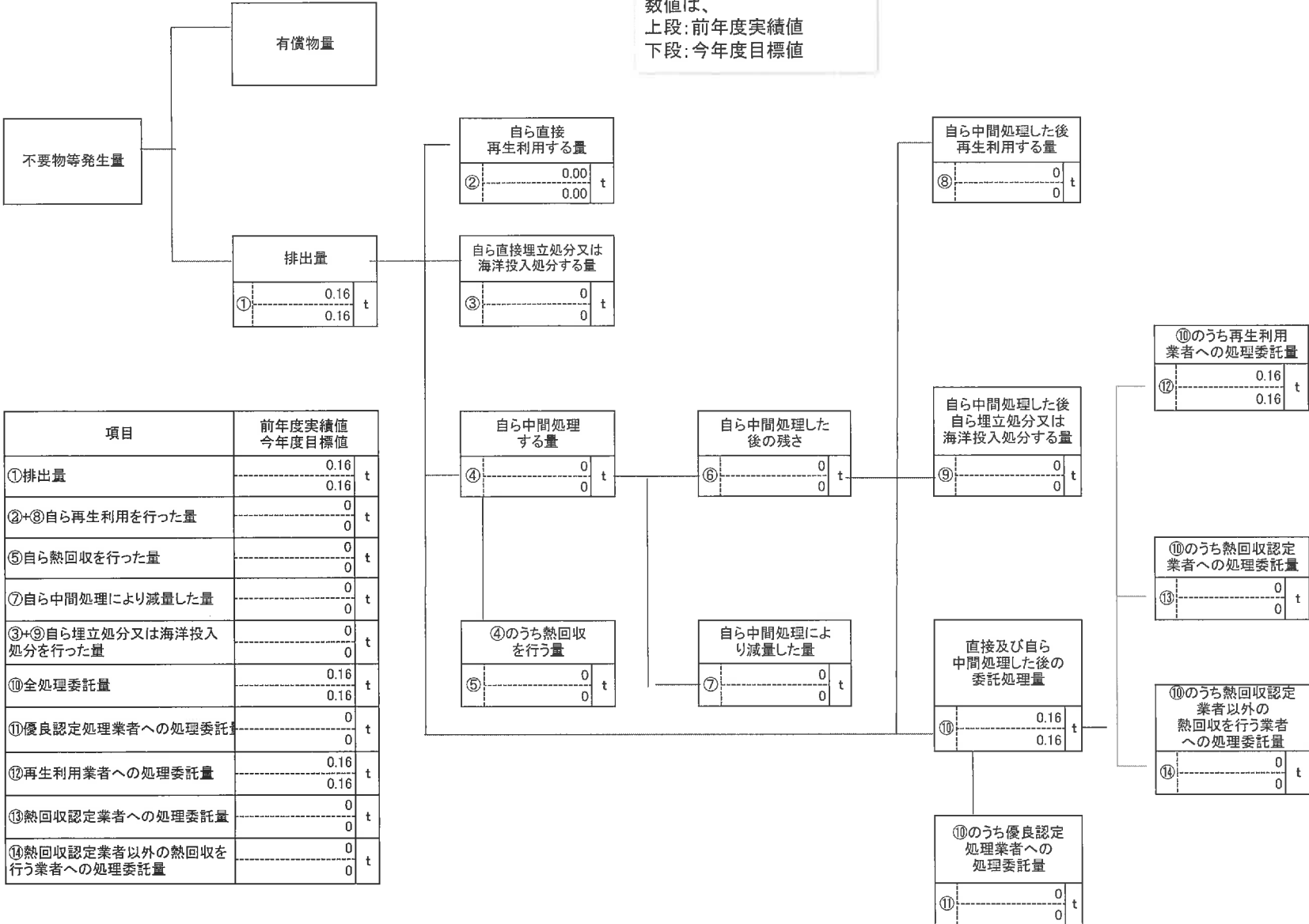
7	0	t
0	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,674 1,674
②+③自ら再生利用を行った量	0 0
⑤自ら熱回収を行った量	0 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0
⑩全処理委託量	1,674 1,674
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0
⑫再生利用業者への処理委託量	0 0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	1,674 1,674

## )

## 【別紙】今年度の計画

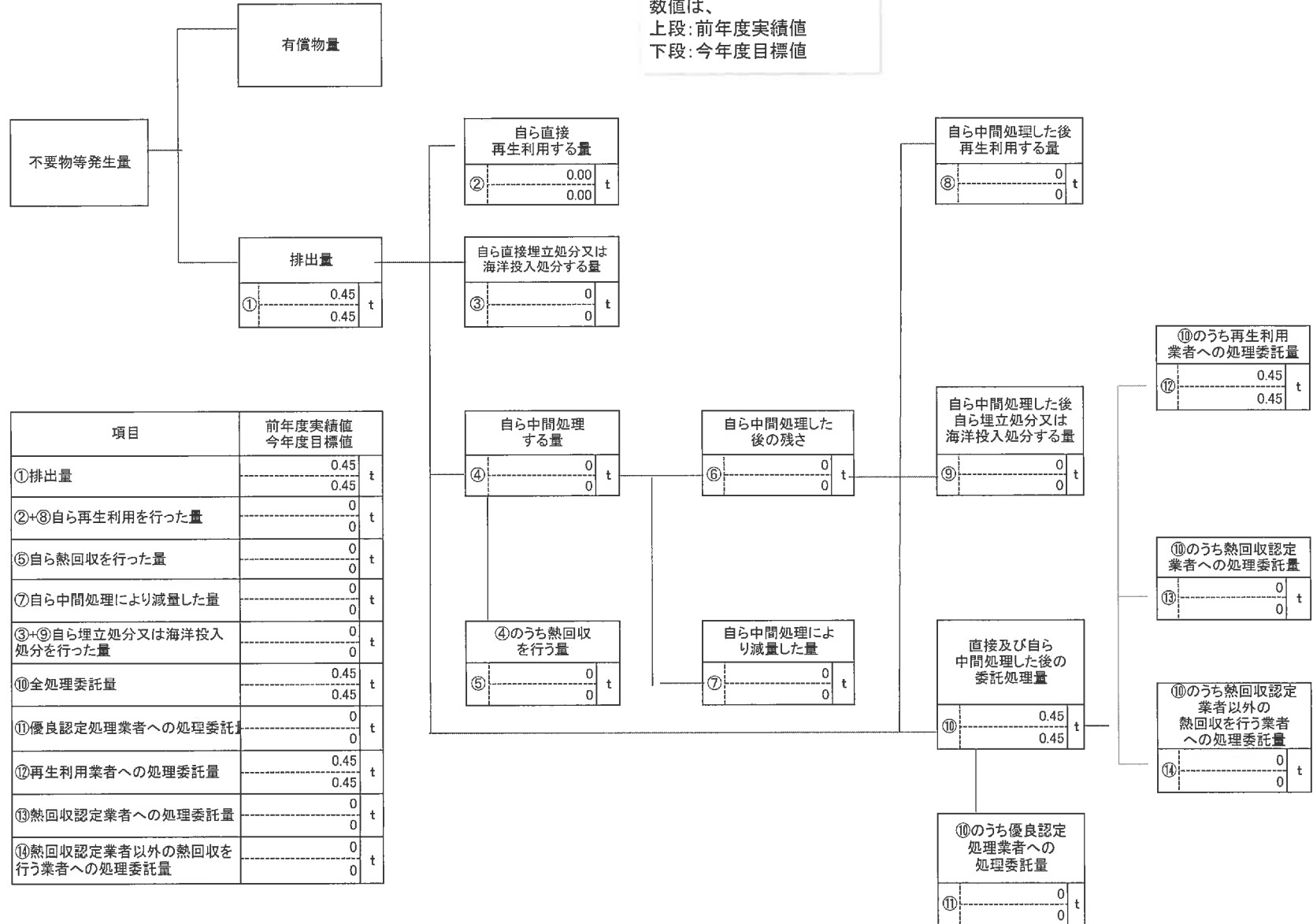
数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃電池類)

【別紙】今年度の計画

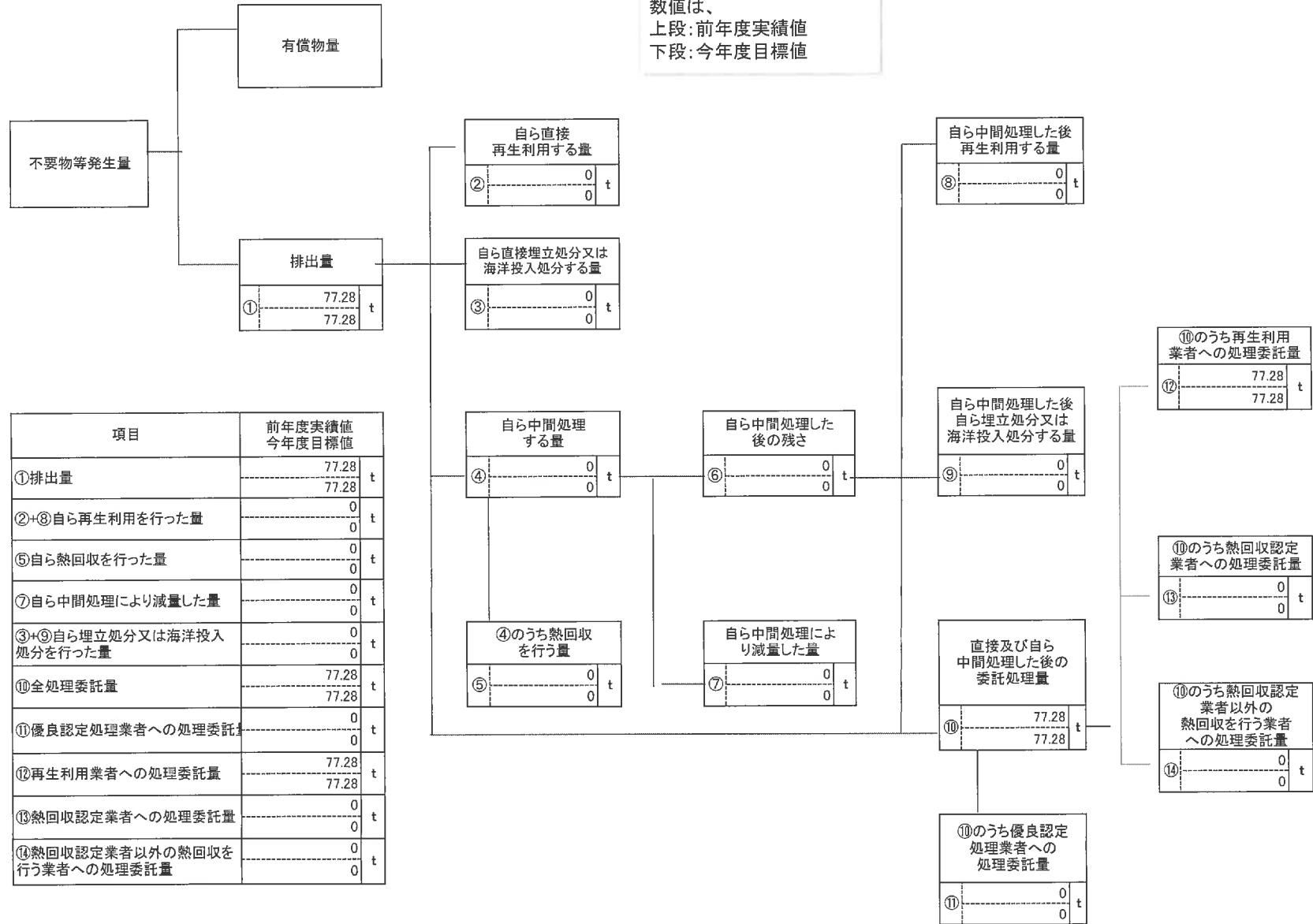
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: がれき類)

【別紙】今年度の計画

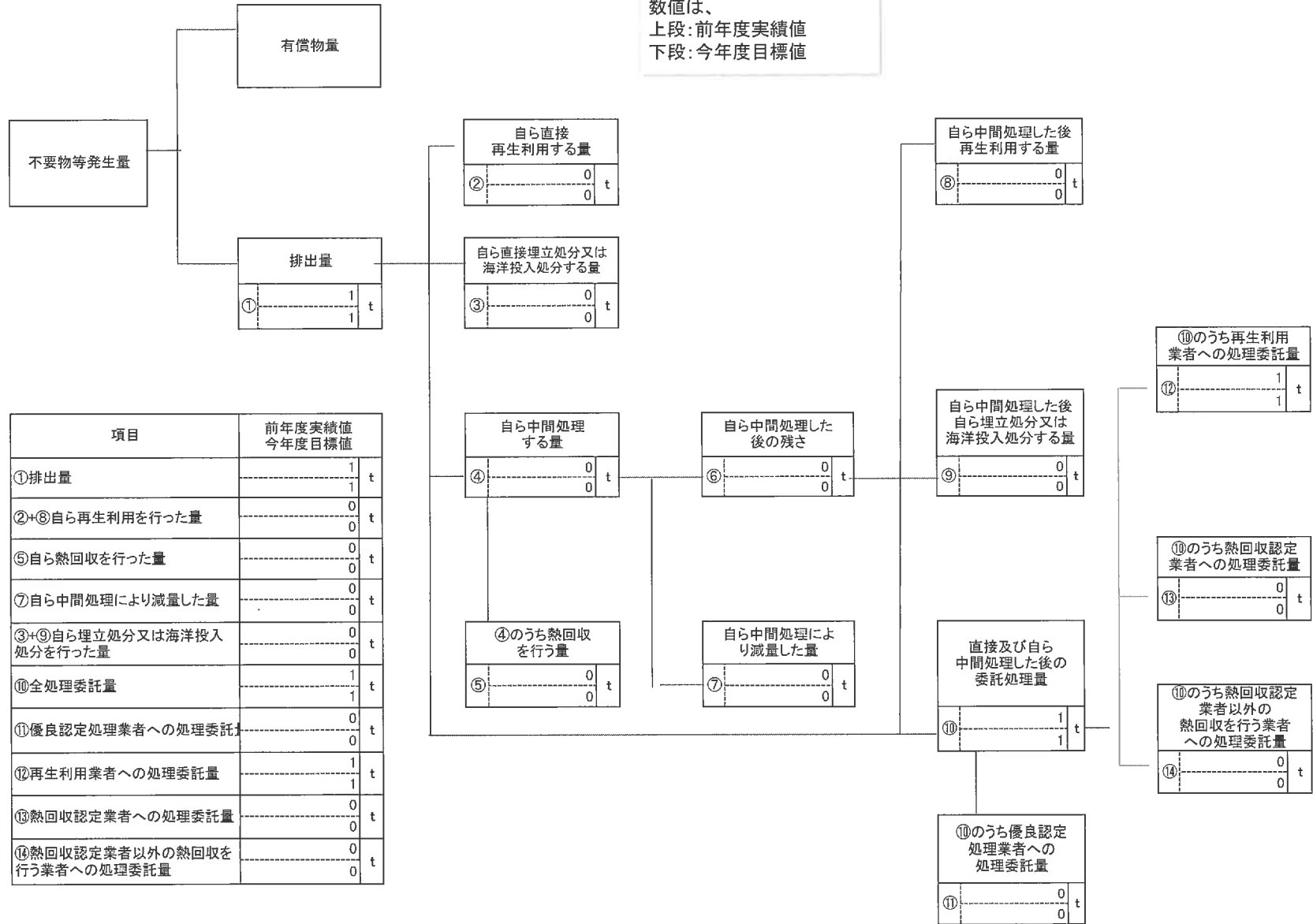
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃油)

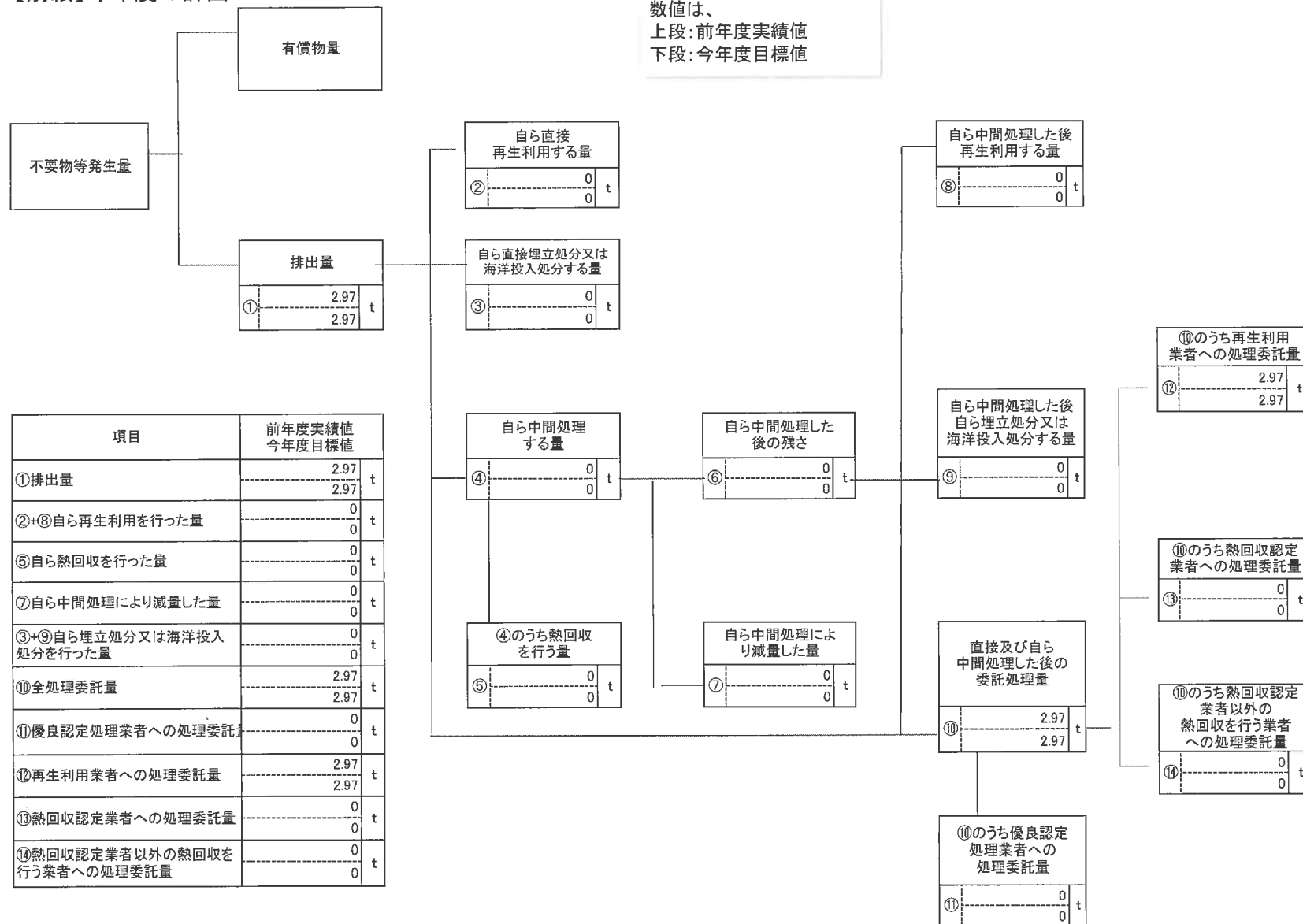
【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

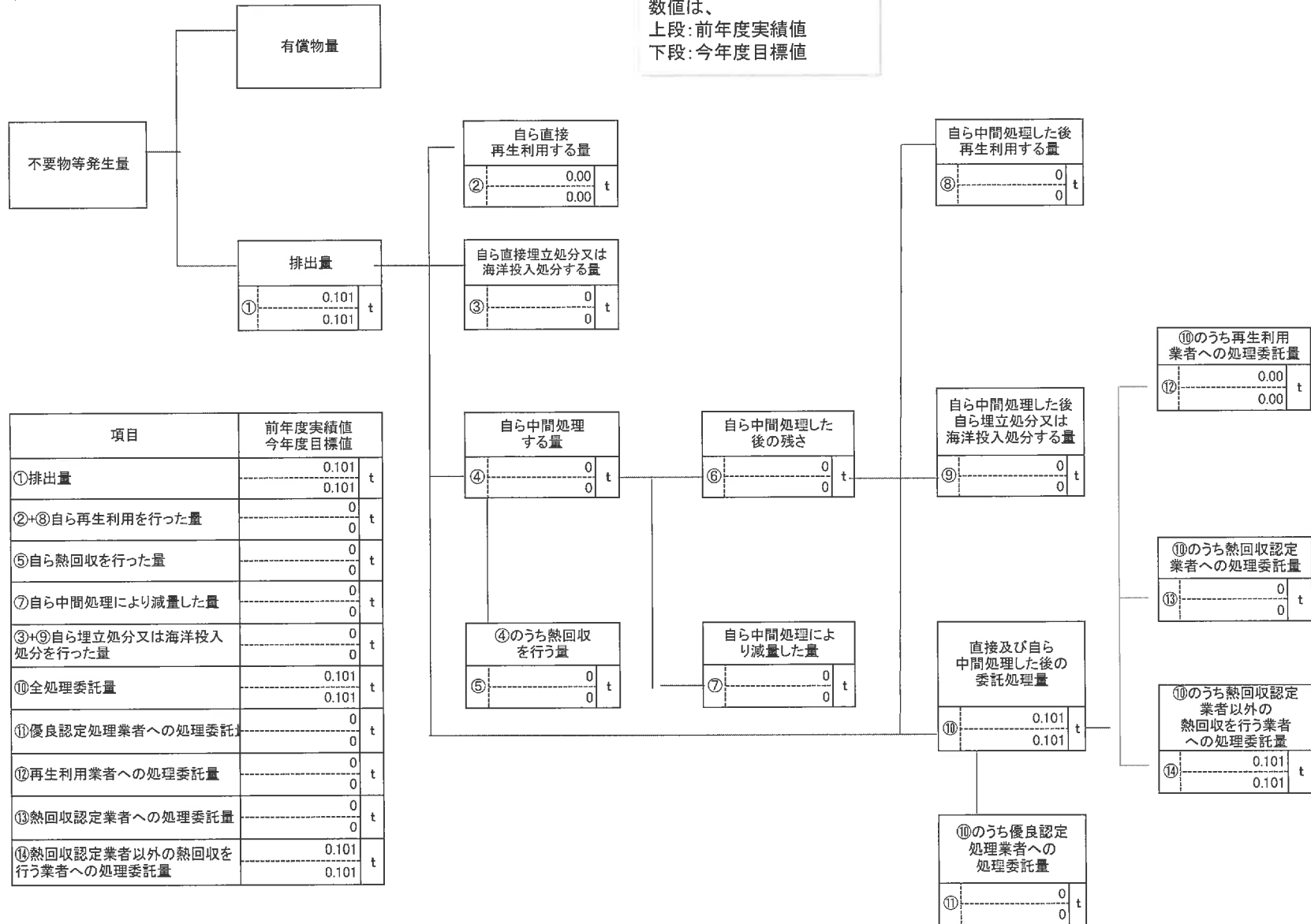
数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



有償物量

排出量

		0	t
②	—	0	

③	0	t
	0	

(8)	0	t
	0	

④	0	t
	0	

		0	t
⑥	-----	0	
		0	

		0	t
⑨	-----	0	

(12)	387.54	t
	387.54	

(13)	0	t
	0	

0	
---	--

⑩	387.54	t
---	--------	---

(11)	0	t
	0	

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	387.54	t
	387.54	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	t
	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0	t
	0	
⑩全処理委託量	387.54	t
	387.54	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	0	
⑫再生利用業者への処理委託量	387.54	t
	387.54	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0	t
	0	

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	32142.67	t
	32142.67	

数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	32142.67	t
	32142.67	
②+⑧自ら再生利用を行った量	9353	t
	9353	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0	t
	0	
⑩全処理委託量	22789.67	t
	22789.67	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	0	
⑫再生利用業者への処理委託量	22789.67	t
	22789.67	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0	t
	0	

自ら直接 再生利用する量		
②	9,353.00	t
	9,353.00	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 0 t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0
	0

自ら中間処理 する量		
④	0 0	t

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	0
	0

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0 0
---	------------------------------------	--------

④のうち熱回収を行う量	
⑤	0 t
	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0
	0

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	22,789.67
	22,789.67

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	0
	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	22,789.67
	22,789.67

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0
	0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0
	0

(産業廃棄物の種類: 動物の死体)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

